

学校 番号	34	学校名	蓼科 高等学校
----------	----	-----	---------

## 令和5年度学校評議員活用状況報告書

第2回学校評議員会 【令和5年11月10日（金）実施】

### 1 実施概要（協議研究事項を含む）

- ・実施時間 13時30分～16時00分
- 1 授業参観・校舎内見学
- 2 校長挨拶・学校評議員委嘱（第1回欠席者3名）
- 3 自己紹介
- 4 学校の活動状況について説明  
グランドデザイン、生徒指導、進路指導、匿名性を担保した学校評価・授業評価、学校自己評価中間評価、生徒募集活動状況、体験入学アンケート、非違行為対策等
- 5 意見交換

### 2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・本校の実態がわかるように、すべての授業を公開、参観を可能にしたこと。
- ・事前に資料を送付し、評議員から質疑や要望を出しやすくする手立てをとったこと。
- ・新規評議員が3名おられたため、当日は評議員全体への紹介を含めて評議を行ったこと。

### 3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- ・授業について、普段の様子や地域での評判からもわかるが、きめ細かく個別の支援、指導を継続している点について評価できる。
- ・部活動の現状について
- ・部活動の地域移行について、中学校との関係と地元自治体への要望について
- ・志願者増に向けた取り組みについて
- ・問題行動に対する生徒支援について
- ・進路状況と高校卒業後の離職率や中退率について
- ・少子化に伴う専門学校等進学先の求人の状況について

### 4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・1年生を中心に部活動への加入率が下がっており、本校への入学者の傾向が変化している中で部活動の地域移行を進める必要があること。その上で中学校では川西地区や北御牧、長和地区での連携が模索されていることから、施設が整うこの地区において地元自治体へも働きかけを含めて連携をとっていくという方向性が確認された。
- ・通信制高校への志願者が増える中で、個別最適な学習や支援的な生徒指導について、引き続き校内での共有を進めていく必要がある。
- ・評議、意見交換の時間が予定を大幅に超過するなど、議論が活発であった。

※報告書は2枚以上になってもかまいません。実施後、できるだけ早く提出してください。  
なお、報告書のみメール添付にて担当までご提出ください（会議用資料等は不要です）。